

協働の実践を広げよう！ 団体 はしもとプラチカ （プラチカ：ポルトガル語で実践）

「協働のまちづくり」第一歩を踏み出すきっかけになれるよう活動していきます

① **2024 年度講座報告 2024 年 8 月現在** 講座名称 みんなでチャレンジ 通称 みんなチャレ
2024 年度 講座 5 回を予定（2 講座終了） 4 月 22 日月曜日 申込スタート

済 第 1 回 キックオフイベント 5 月 25 日開催 参加者 18 名 女性 12 名 男性 6 名
年齢構成 （20 代 5 名 30 代 3 名 40 代 4 名 50 代 5 名 60 代～1 名） ※プラス子ども 2 名
地域構成 （市内 17 名 市外 1 名）

アンケート 感想 ■普段話すことのできない様々な年齢、立場の方とお話出来たのも楽しかったです。

■地域活動に取り組むきっかけ、ヒントを得ることができました。

■協働のまちづくりに積極的に関わりたいという方が橋本にたくさんいることを

知れて良い機会になりました。自分よりも若い世代も多く参加していて驚きました。

■いろんな年代の方と交流できる機会はなかなかないのですごくいい機会だなと思いました。

残りの講座も楽しみです！

済 第 2 回 ハシログと考える橋本の未来 7 月 6 日開催 参加者 63 名 女性 38 名 男性 25 名

事前申込 50 名（年齢構成 20 代 9 名 30 代 10 名 40 代 7 名 50 代 13 名 60 代～11 名）

事前申込 50 名（地域構成 市内 44 名 市外 6） ※LIVEQ 使用 リアルタイム質問

アンケート 感想 ■橋本市を良くしようと思っておられる方がたくさんいることを知り、

私自身が橋本市に貢献できることを考える機会となりました。

■若い方の参加も多く、なかなかお話す機会のない世代の方と情報交換できて良かったです。

■いろいろな活動をする方が意見交換できるような場を提供していただけたことに感謝します。

■堅苦しくなく、参加へのハードルが低かったのもよかったと思います。

講座後の交流会でも盛んに交流する姿がみられ、私たちも繋がりを感じることができました。

交流が今後の活動の糧になればと思います。

第 3 回 地域の居場所づくり（スタバ） 9 月 28 日 参加者 20 名 満員御礼

スタバ打ち合わせ

第 4 回 コーヒーショップ出店 11 月 10 日（日） まなびの日出店予定 参加者 18 名 満員御礼

第 5 回 秋津野ガルテン視察 1 月 18 日 定員 20 名 満員御礼（キャンセル待ち）

② その他

- ・出展 6 月 1 日 市役所にてフードトラックフェス+はしもとマルシェ 初出展 100 枚チラシ配布
市民活動サポートセンターとの協働出展 第 2 回参加申込 3 名
- ・ボランティア 紀の川橋本 サマーボール 2024 2024 年 9 月 7 日土曜日
ボランティアスタッフ（個人・団体募集）
団体申込 インスタ、メール（講座申込者）にて情報提供
3 名申込（全講座参加者 2 名 、第 2 回講座参加者 1 名 ）

③ 地域通貨 Hashi-Mo（ハシモ） 1 講座 200 ポイント 全講座受講者+1,000 ポイント

④ 情報提供

- ・紙媒体 チラシ掲示、配布（公民館 図書館 橋本高校 コンビニ スーパー 等）
- ・広報はしもと 4月、5月、6月号
7月号裏表紙（第1回の様子）協働にチャレンジ！



協働にチャレンジ！

5月25日、地域での協働の輪を広げるための連続講座「みんなでチャレンジ！」の第1回が紀北青少年の家（かつらぎ町）にて行われました。
参加者は協働についての講話を聴き、手作りキャンプ飯を囲んでの交流を楽しみました。

- ・メール 講座参加者、はぐくむサポーター通信
- ・SNS 橋本市公式ライン
Instagram 2/9 開設 （5/20 投稿 17・フォロー 172 : 8/20 投稿 42・フォロー ）
個人シェア （インスタ・Facebook ありがとうございます）

⑤ 提案とお願い

第15回 「すこやか橋本 まなびの日」 2024年11月10日（日） 9:30～14:30

ブースを一部お借りして出展させていただきたいです。また、プラチカの出店活動があるため、事務局上原さん、プラチカメンバー森田さん、東、はぐくむブースのお手伝いができない可能性があります。要検討

写真 第1回 5/20



初出展 6/1



第2回 7/6



「わたしたち市民が、協働の第一歩を踏み出すために、協働の仲間を探したり増やしたりするにはじめての連続講座「みんなチャレ」。第1回、2回講座を通し、こんなにも橋本の未来を考えてくれている人が、そして若者世代がいることを知ることができました。想いのある方々と交流ができ、また繋がることができたことは、大きな収穫だと思います。今後も多くの出会いを通して、協働の和を広げていけるようにと思います。そして、はしもとプラチカが協働したい人の居場所となれるよう活動していきたいと思います。」